

たわわ

TAWAWA

NPO 法人地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2011年12月26日

119号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

厳しいけれど 手を携えて

新しい課題に向かおう！！



試練の多かった今年も、暮れようとしております。

東日本大震災、原発の放射能汚染、台風による大災害。そして、毎日の社会のなかで弱い立場の人たちを苦しめる様々な出来事...

どれも、私たちにとって、見過ごす事の出来ないことでしたが、東日本大震災では、私たちが総力を振り絞り、被災地障害者へのチャリティーコンサートを行いました。これによる90万円余という金額は、この大震災にどれほどのご支援となったのか、図る事はできませんが、今この季節になって、頑張っただけ私たちにできる事をしておいてよかったという気持ちは、ありますし、今後も何らかのご支援を続けたいものと思っております。

これから厳しい冬を過ごす人々を案ずる声の中に、障害を持たれた方の情報はあまり聞けないのですが、元気であった方たちも、心身に病を患われている方が増えているはずですが、「花陽の会」の方たちもチャリティー公演のあとも、物品でのご支援をなさっていますが、私たちも、金銭的なものだけでなく、いったん災害を受ければ、同様の立場になることも胸に刻みつつ、心の支援も、備えもせねばと思うのです。



重度障害者がともに暮すグループホーム

よつばホーム運営委員会が発足して10周年

さて、そんな中ですが、私たち「支える会」が重度障害者の地域生活を支援しようと、それまでの行なっていた勉強会や、作業所を支える家族会の活動を強化して支援組織を作ったのが1999年。翌年の1月から公団のマンションを借りて、試行事業を展開したのですが、2001年3月にはよつばホームの運営委員会を立ち上げました。今年は丁度10年目にあたります。

その後「よつばホーム」「第2よつばホーム」が開所しました。いろいろな事があり、あっという間の月日でしたが、入居者や家族にとっても、試行錯誤の中で、一人ひとりにあった生活を築くために、努力の連続であったといってもよいです。

よう。

これからは、さらに違った問題をクリアしてゆかねばなりません。

グループホームでは、職員とアルバイトやヘルパーさんたちによるスタッフの努力で、明るい、ほぼ安定した体制で、暮らしていますが、今後は何よりも国や横浜市の施策に伴う問題、入居者自身の加齢による身体の変化や、支援する家族の高齢化など、いよいよ正念場を迎えます。

どうぞ皆様のご支援を心からお願いいたします。

◇交流の集いを楽しく

そこで、よつばホーム運営委員会発足10年を機に祝賀会というよりは、皆様との連帯と交流の集いを企画する事になりました。気の置けないティーパーティーですので、ぜひご参加くださるようお待ちしております。

これまで育ててきた、入居者や家族の気持ち、スタッフたちの思い、支援者の声なども聴きながら、楽しく過ごす事で、次への活力を養いましょう。いつもご支援いただいている、音楽の赤瀬先生もご協力くださいます。

お知らせ

よつばホーム運営委員会発足10周年記念交流会

日時：平成24年1月21日（土）午後2時より

開場・受付午後1時30分

会場：横浜ラポール2F ラポールボックス

新横浜下車（横浜スタジアムの手前）TEL045-475-2001

*パネルなども掲示の予定ですので、早めにご来場の上ご覧下さい。

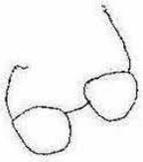
NPO 法人げんき 「活動ホームしもだ」クリスマス会

活動ホームしもだ主催のクリスマス会が開催されました。

今年は、クラリネットのアンサンブルとともに、にぎやかに楽しみました。

何といたっても一番人気は、よつばの部屋グループの仮装。短時間で終わる事でも有名でこの機を逃さず！見るために、お母さんたちはとても緊張して？います。





めがねの声

◆LIVE トーク' 11 に参加し

て... ②

LIVE トークの会で、「将来にわたるあんしん施策」の話しをしました。
みんなも いろいろ心配な事があるといっていました。

* * *

私も、障害があるのでこれからの暮らしの事や、グループホームでの生活の事など自分のことでの心配もあります。また食べ物のことでも、放射能や、添加物など安全な食事ができるのかも心配です。

そして、子どもたちが 楽しく遊べる世の中になるのかなど、ちいさな不安もあります。

* * *

ずっと前にも書きましたが、長く見守っていてくれる人、私の“ふしぎな言葉”をわかってくれる人や、困ったときに相談できる友達がいてほしいです。

私たちのグループホームにはとても重い障害者たちが暮らしています。皆は、お話も不自由ですが、顔の表情で いろいろ伝えていきます。職員のほかにヘルパーさんたちもたくさん入っています。大変かもしれませんが、みんな理解して援助してくれるのに一生懸命です。でも、ほんとうに理解できるのには、誰も時間がかかります。

グループホームの職員やヘルパーは、働く時間が長すぎではいけないので、交代しなければなりません。毎日違う人たちが交代で泊まらなければならないのです。親と同じように、毎日同じ人が見守ってくれればあんしんだと思います。前の日の様子と比べたり、ずっと通してみたり、交代の人もつながるので安心です。

泊まれなくても、少ない時間でも「毎日通してみている人がいれば いいな」と思います。とてもとても 無理かも知れませんが、私の夢です。

* * *

LIVE トーク' 11 の会では 学校や勉強の話もしていました。
勉強は、長い目で見てくれれば、とても安心だと思います。

母もよく言いますが、私たちには「いつまでに出来て、何を終わらせなければならない」ということはないのです。ゆっくりでいいから、その代わり やりたいことを ずっと長く続ければよいのだと思います。それなら 少し大変でも 楽しいことです。この「めがねの声」もその一つです。

(大原友子)



今月のよつばホーム

よつばホーム

師走、何かと気ぜわしいこの頃となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

11/3 祝日は昨年もお世話になった『もみじの会』さんのご協力で、サツマイモ掘りをしました。暑からず寒からず、絶好のアウトドアレジャー日和！気合い十分！

勢津子さんは丁寧に掘り進め、花岡さんは野生の勘?!でツルを見つけて大きなイモを掘りあてました。高村さんはこれがよつばホームでの行事初参加です！



次郎さんがシャベルで土を掘り、高村さんがイモを引っっこ抜く...絶妙のコンビネーションで次々イモが掘り出されます。掘ったイモはGHに持ち帰って食べました。定番の『ふかしイモ』もおいしかったのですが、『塩バター味』も絶妙でした。輪切りにしてフライパンでツテ。キツネ色になると香ばしいニオイがGH内に広がります♪

※『もみじの会』の皆様、おいしい楽しいひとときを本当にありがとうございました。

1/23 は祝日だったので、高村さんは家族でお出かけし、勢津子さん、花岡さん、次郎さんは新吉田のイオンに行きました。勢津子さんは買い物をたのしみ、素敵な手袋を買いました。花岡さんはUFOキャッチャーに向かってまっしぐら...真剣な表情で狙いを定めてボタン操作し、見事にゲットしました。次郎さんはボウリングゲームや太鼓のリズムゲームなどをしました。休日の締めくくりはイトインコーナーへ。ティータイムしたり、アイスクリーム食べたり、それぞれのペースで楽しみました

第2よつばホーム

1月19日は章子さん、26日は友子さんの誕生日です！第2よつばホームでは2人の誕生日をケーキでお祝いしました。電気を消して、ハッピーバースデイを歌い、ロウソ

クをフーッ！章子さんにはチョコレートケーキ、友子さんにはチーズケーキを。とはいっても皆で同じずつ切り分けて食べます。お腹いっぱい食べた後はいつものようにそれぞれゆっくり過ごしました。章子さん、友子さん、誕生日おめでとう！

大寒波の訪れた12月24日、よつばホーム・第2よつばホームそれぞれでクリスマスパーティを行いました。ホームに続々と届けられるおすし、ピザ、チキン、シャンメリー、そしてクリスマスケーキ！とってもおいしそうでもうガマンできない！お風呂に入っているメンバーが上がってくるまで待ちます、待ちます……………まだー？（×_×）

全員そろったらいよいよパーティの始まりです♪

たくさんおしゃべりしながら食べている人、好きなものを好きな順番で頬張ってニコニコしている人、スタッフに食べすぎを心配されている人…みんなそれぞれにごちそうを楽しみます。おいしいものを食べると、やっぱりテンションがあがります。スタッフも自然と楽しくなってきたニコニコ、もしかして入居者さんたちよりも楽しんでいるかも？食べ終わって片づけをしていると、「おいしかったね」という声があちこちから聞えました。来年もまたこんな風に楽しくパーティできますように！